

随泉寺寺報

2001 年 8 月号
第 372 号

浄土真宗本願寺派 高峯山随泉寺

お盆法座

講師 随泉寺住職 自修

講題 「おぼんのころ」

父母の ^{あかねぐも} います国かも ^{みなぎ} 茜雲 漲る西へ 乗り継ぎて
ゆく(照山 寿美子)

暑い夏が続いています。今年は静岡では 気温が40度を越えたとか、人間の体温なら大変なことです。救急車で入院でもしなければなりません。お風呂なら熱くて入れないぐらいです。地球温暖化はよそのことではありません。日本も熱帯地方になったような錯覚をします。

八月はお盆の季節です。都会に出ていた人々もふるさとに帰ってきます。暑い都会を逃れて 故郷へ ふるさとへ……。私は8月と聞くだけで何か懐かしい気持ちになります。それはふるさとを離れて暮した期間が長いからでしょうか？それとも懐かしい亡くなられた人々を思い出すからでしょうか？どちらにしても ころがいのちのふるさとへ向かう時のような気がします。



8月の法座予定

8月16日朝席午前10時より……お盆法座

8月16日昼席午後1時半より……初盆追悼法要・お盆法座

お知らせ

きれいになった庭でビールを飲んで暑さを吹き飛ばす会 随泉寺ビアガーデン

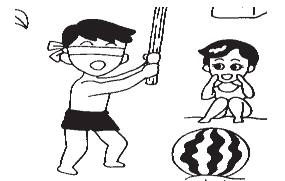
7月19日 木 午後6時より

梅雨がいつまでもあって、19日は晴れるのだろうかと心配していましたが、当日ようやく梅雨明け宣言があり、ビールを飲むには絶好の熱さ？と成りました。参加者がどれくらいあるのか心配していましたが、80名を超える人々が参加してくださり、大盛況でした。特に男の方が多くて、嬉しい悲鳴を上げました。普段の法座では男の方は4～5名お参りしてくださるのがやっとですから、何時もこれくらいの方がお参りしてくださればいいのになぁと思った次第です。お顔は良く存じ上げていますが、お寺の境内ではめったに見られない方が多くて、「ビールにつられてきました」という人から、「暇だから来た」という人までいろいろですが、とにもかくにもお寺の山門をくぐったということが有り難いことです。つきだしは沢山の方が野菜や果物を寄付してくださり、食べきれないぐらいバラエティに富んだ物を用意していただきました。ビールも缶ビールとビンビールを合わせて300本以上飲んだ計算です。すごいですね。とにかく楽しい時間でした。来年も必ず開催します。「毎月やれやー」という声も聞こえましたが……。

少年少女の集い(7月23～24日)・一日研修会(7月24日)

小学4年生～6年生までと小学1年～3年

今年も夏の一泊研修会と一日研修会を行いました。4年生～の一泊研修会には19名の児童が参加してくれました。追跡ハイキングや夜のツスイカ割り、花火また燈籠流しと楽しそうに遊んでいました。24日の1年生から3年生までの一日研修会は45名以上の児童が参加してくれて、合わせて60名以上の児童で本堂はにぎやかでした。夏休みの一日随泉寺の本堂で遊んだという記憶がどこかに残ってくればそれだけで嬉しく思います。来年もまたぜひとも参加して下さい。



初盆追悼法要

16日の午後1時半より平成12年8月7日～平成13年8月6日までに亡くなられた人の初盆追悼法要を勤めます。ご縁のある方は誘い合わせてお参りください。

小泉首相の靖国神社の公式参拝に反対します。

靖国神社とは

靖国神社は、明治2年(1869)に明治天皇の思召しによって、戊辰戦争(徳川幕府が倒れ、明治の新時代に生まれ変わる時に起った内戦)で斃れた人達を祀るために創建された。初め、東京招魂社と呼ばれたが、明治12年間靖国神社と改称されて今日に至っている。後に嘉永6年(1853)アメリカの海将ペリーが浦賀に来航した時からの、国内の戦乱に殉じた人達を合わせ祀り、明治10年の西南戦争後は、外国との戦争で日本の国を守るために、斃れた人達を祀ることになった神社である。ですから薩摩や長州の官軍の人ばかりで当時の徳川幕府の人は祀られていません。それ以来日清・日露の戦争や第二次世界大戦で亡くなられた軍人も神(英霊)として祀られている。

靖国神社に神(英霊)として祀られている人は?

みなさんは、靖国神社にどれくらい神さまがいらっしゃるか、知っていますか?

答えは、なんと2,466,000余柱です。厚生省は昭和31年、「靖国神社合祀事務に関する協力について」という通達を出して、都道府県が御祭神の選考を行うこととなった。「御祭神名票」というカードに記入して靖国神社に送り、それに基づいて、靖国神社は御祭神を合祀する。「戦傷病者戦没者遺族等援護法」と「恩給法」のいずれかに該当する、という基準を立てた。その「援護法」と「恩給法」自体の適用範囲が広がります。ここで問題となっている東条英機他十四名のA級戦犯の人々も合祀されるのです。靖国神社の神さまの中には、橋本左内、吉田松陰、坂本龍馬、高杉晋作など、江戸時代の終わり頃から明治時代のはじめにかけて国のために活躍した人たちをはじめ、明治・大正・昭和の戦争で戦死された多くの軍人が祀られています。しかしあくまで天皇様に対して忠実であった人、または戦争で亡くなられた人以外は祀られていません。ですから西郷隆盛や乃木大将は祀られていません。もちろん外国人や在日朝鮮人の人もです。また戦争で亡くなられた他の人々もです。原爆で亡くなられた人々、東京空襲で亡くなられた人々も祀られています。

なぜ本願寺は参拝に反対しているのか

小泉首相が単に個人として神社にお参りされるのには問題がありません。しかし靖国神社は戦前の軍国主義の象徴のような神社で、戦争を肯定し、よろこんで国の為に、天皇様の為に死んで行く人を作るような神社です。浄土真宗の教えは本願を信じて念仏を申し、浄土で仏となるということですから怨親平等の境地です。怨親平等の精神と味方の戦没者だけを英霊とたたえる靖国の思想とはかけ離れているといわざるを得ません。戦争の犠牲者は軍人だけでなく、老人も子供も、また日本人も外国人も、すべて犠牲者です。全ての戦争をなくすということが平等であり、国を守るということです。戦争を美化し、喜んで国や天皇様の為に死んで行くという思想は、結果的に国を守る事にはならないのです。だから本願寺は靖国神社に参拝する事に反対しています。